

2021年度事業報告について

(1) 全体の事業概況について

2021年度事業計画は、公益目的支出実施計画(2014/4月～2026/3月)にもとづく実施事業を、従来方針通り期限内終了を見据えて事業展開をしていくこと、及び会館事業運営の安定に向けた財務体質の強化を行うこととしました。

実施事業については、2年超に及ぶ新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出・旅行の自粛や様々なイベントが中止になるなど前年同様な状況が続いた影響を受けて、宿泊者は2期連続で例年に比べ減少となり、勤労者や学生に低料金で宿泊を提供する、公益目的としての事業遂行が難しい一年となりました。

一方、収益事業については、その核となる貸室事業によるテナント収入および販売・駐車場各事業が比較的安定していた半面、宿泊・会議室事業が同様な影響を受けました。

こうしたことから、事業全体での経常収益計は、211,595千円の計画を1,513千円下回る210,082千円となりました。また、経費面では、予定された修繕計画(事業活動支出・固定資産取得支出)の実施時期延期や中止などの見直しがあったこと、加えて売上の減少と相まった経費執行などにより全体として抑制的となり経常費用計は、194,310千円の計画を12,144千円下回る182,166千円となりました。

この結果、当期経常増減額は17,285千円の計画を10,631千円上回る27,916千円となり、一般正味財産期末残高は、388,694千円となりました。また、指定正味財産期末残高を加えた正味財産期末残高は411,694千円となりました。

(2) 実施(継続)事業の状況について

宿泊事業を公益目的支出計画の継続事業としているため、公益性の観点から一般の利用者より安く、小学生(1,500円)、中高大生等(2,500円)、勤労者(3,500円)に区分し、低料金で提供しています。

新型コロナウイルス感染症拡大以前は、例年学生が休みとなる7・8月、12月及び3月などに、スポーツ少年団や中高大生の団体客及び勤労者の宿泊で、年間宿泊者数の約40%を占めておりました。当期も前年同様スポーツ少年団の交流会やイベント等の多くが中止となった影響から利用者の減少傾向が続くことになりました。年間を通じると12月及び3月に同一の高校の団体宿泊(のべ223名)があったものの、学生の利用は小学生が2名、中高大生が245名となりました。事業全体では、勤労者の利用が前年より若干増加したものの、最終的な宿泊実績は646名となりました。

この結果、経常収益は、4,700千円の計画を△2,688千円下回る2,012千円となり、事業費についても、18,096千円の計画を△2,018千円下回る16,078千円となりました。

最終的に、当期経常増減額は△13,396千円の計画を670千円上回る△14,066千円となりました。

なお、過去5年間の利用客数及び事業収益は(表-1)の通りであり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2年間の利用減少傾向が顕著となっております。

(表-1)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
利用客数	2,369	2,031	2,303	382	646
うち小学生	352	223	385	1	2
うち中高生	910	849	859	36	245
勤労者	1,107	959	1,059	345	399
事業収益	6,678	5,814	6,431	1,299	2,012

(のべ人数・千円)

(3) 収益事業の状況について

① 宿泊事業

実施事業と同様に、一般(勤労者・学生以外)の宿泊数も、昨年度に比べれば増加しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前と比較すると減少が続く年度となりました。

(宿泊者数：2019年度399人・2020年度45人・2021年度103人)

この結果、経常収益は、1,200千円の計画を218千円下回る982千円と厳しい売上結果になりましたが、事業費についても5,872千円の計画を612千円下回る5,260千円となりました。

最終的に、当期経常増減額は△4,672千円の計画を395千円上回る△4,477千円となりました。

② 貸室事業

1・2階の「さいたま市南部市税事務所」ほか、地下1階及び3階の貸室は、さいたま市関連部署が入居しています。また、1階一部と4階は福島県・労福協・富岡町が継続的に入居しており、テナント収入はほぼ計画通りとなりました。この事業による収益は、経常収益全体の約7割を占めており、収益事業の中核となっています。

この結果、経常収益は148,480千円の計画を126千円上回る148,606千円となり、事業費は、77,209千円の計画を91千円下回る77,181千円となりました。

最終的に、当期経常増減額は71,270千円の計画を217千円上回る71,487千円となりました。

③ 販売事業

販売事業は、QUOカード・VJAギフトカード販売が主要です。年間を通して金融機関や労働組合・公的機関・企業等のリピーターのお客様を中心に購入していただいております。各種イベントの中止を受けて、お客様や組合員への配布用クオカード需要と推察される事例もあり全体として売上実績は例年とほぼ同様となりました。

この結果、経常収益は25,000千円の計画を1,350千円上回る25,350千円なり、事業費は30,324千円の計画を1,541千円下回る28,783千円となりました。

最終的に、当期経常増減額は△5,324千円の計画を2,892千円上る△2,432千円となりました。

④ 会議室事業

会議室事業も、感染防止対策の観点から開催延期やキャンセルが多く発生したことにより、売上は減少しました。会議室の利用形態も、通常の対面参加型ではなく、ウェブ会議・ズーム会議を取り入れたものなどに変化してきております。中でも介護支援専門員協会主催の研修会（例年年間 60 日程度開催）は、上期から連続し 12 月までキャンセルとなりました（1 月より再開）。また、法人による各種試験会場・労働組合の定期総会・新春のつどい等の利用も殆どが中止となりましたが、市役所による年間を通じた小会議室の予約利用等もあり、一定程度の収益を確保することができました。

（会議室利用回数：2019 年度 697 回・2020 年度 651 回・2021 年度 629 回）

この結果、経常収益は 18,000 千円の計画を 941 千円下回る 17,059 千円となり、事業費は、21,289 千円の計画を 891 千円下回る 20,398 千円となりました。

最終的に、当期経常増減額は、△3,289 千円の計画を、50 千円下回る△3,339 千円となりました。

⑤ 駐車場事業

月極駐車場（東松山支店駐車場含む）は年間を通して満車となっております。時間貸駐車場はほぼ例年並みの収益を確保できました。

この結果、経常収益は、14,200 千円の計画を 860 千円上回る 15,060 千円となり、事業費は 14,538 千円の計画を 185 千円下回る 14,353 千円となりました。

最終的に、当期経常増減額は計△388 千円の計画を 1,044 千円上回り 706 千円の黒字となりました。

(4) 公益目的支出計画の実施状況について

当法人の公益目的支出計画は、前（2）に記載のとおり宿泊事業を継続事業とし、2014 年（平成 26 年）3 月 31 日で確定した公益目的財産額 128,086 千円を、2026 年（令和 8 年）3 月 31 日までの 12 年の実施期間で零円にするよう、各事業年度の公益目的支出額を 15,623 千円、実施事業収入額を 4,840 千円、その差額となる公益目的収支差額を 10,783 千円としています。

当該事業年度の公益目的支出の額は計画（15,623 千円）を 455 千円上回り 16,078 千円となりました。一方、実施事業収入の額は計画（4,840 千円）を 2,828 千円下回り 2,012 千円になりました。

この収支差額実績 14,066 千円を前事業年度の公益目的収支差額実績 84,136 千円に加えると 98,202 千円の実績となり、当該事業年度の公益目的収支差額計画の 86,271 千円（10,783,925 円×8 年）に対し 11,931 千円上回ることとなりました。

この結果、2021 年度（令和 3 年度）末において、公益目的収支差額の計画と実績の差が各事業年度の収支差額計画（10,783 千円）を上回ることとなり、公益目的支出計画は、当初計画よりも 1 年早まり、2025 年（令和 7 年）3 月 31 日に終了する事業年度に完了する見込みとなりました。